

《三洋電機》滋賀工場の生産中止、大量転勤・退職者が発生か?!

「あなたは、こんなことで悩んでいませんか!」

群馬での事業の将来性に展望が持てない

技術者がたくさん辞めそうだとか、移動日程が強行すぎて無理があるなど、移動先での事業継続に不安要素が多い。展望が見えない異動で将来、退職などに追い込まれるのはイヤ。

単身赴任が心配される

一緒に生活してこそ家族、夫婦。単身赴任は必ず家庭にギセイがでるもの。父親が不在となると、子育ての負担はモロに妻にかかるし相談にもってやれない。子どもが非行に走らないか、気にもなる。

妻が（夫が）働いている

妻が（夫が）他の会社で働いている。自分が群馬や他の地域へ行くとなると妻が（夫が）会社をやめざるを得ない。そうなると住宅ローンなど払えなくなり、生活苦か...悲劇だ。

学校へ行っている子どもがいる

子どもが向こうの学校で素直に溶け込めるか、転校児童ということではじめにあいはいしないか不安だ。いまは、親しい友達も何人かいるみたいだ。それを転校させるとなると...

滋賀に生活基盤を築いている。この土地を離れたくない

地域の団体の役員もしているし、妻も子供も友人や知人とのつながりを切りたくないと言っている。

家族が転勤をイヤがる

家族が知らない土地へ行くことに大反対。会社が一方的に生産中止を決めてしまったのだから、今度はわたしと家族の要望を聞き入れてくれてもいいハズ。

異動では “本人の意向尊重” を充分に

三洋電機の滋賀工場生産中止、大量配転問題で配転先が出されました。従業員約700人のうち群馬への異動者が350人に拡大、その他の異動先では、徳島や大阪、守口市の本社へなど遠隔地への異動、滋賀の新設部門への異動などが含まれています。

遠隔地への異動者はもちろん、滋賀での新設部門に予定の人々も、大阪や群馬での研修など遠隔地での勤務が待っています。労働者の間からは「これでは、辞める人が大量に出そうだ。なんとかならないか」など、不安を訴える声が上がっています。

会社は、身障者や要介護を抱える人、子供を持つ片親家庭などは通勤圏内での再配置を考慮するといっています。これは当然のことです。それ以外でも、人により転勤できない事情はたくさんあります。会社は個々の事情によく配慮し、本人の意向を尊重した対応をすべきです。不本意な退職に追いやるような異動は許されません。

労働組合は、「退職者を発生させないよう全力を尽くしたい」との姿勢ですが、そのためには、通勤圏内の仕事を増やす必要があります。当初の移動予定日は一月ですが、日程変更や、生産継続の方向を含め、滋賀での仕事を確保するため、最大限の努力をしましょう。

滋賀工場の労働者のみなさん、これからは、えんりよなく要求を出しあい、力を合わせてがんばりましょう。

一人で悩まず、みんなでがんばりましょう!!

ひとりで悩まず、相談を
電機労働者懇談会

電話：03-3455-6006 (東京)
06-6354-7237 (関西)

メール：denkikon@nifty.com

滋賀県労連
電話：077-521-2536

発行者：電機労働者懇談会 中山森夫
〒108-0073 東京都港区三田 3-2-20
Tel:03-3455-6006 FAX:03-3451-3595
編集：三洋電機労働者懇談会
発行 2006年11月 (号外)

Electric Labor and Industry Correspondence
GLIC
(三洋電機版)